

2026年2月24日

各位

三菱地所株式会社
株式会社 point0
一般社団法人 TMIP

大手町仲通りにて「移動設置可能な空間“OFFMO”」を活用した検証 まちまるごと実証実験 by TMIP を2月24日より開始 ～都市空間および遊休スペースでのオペレーション検証を通じ、社会実装を目指す～

三菱地所株式会社（以下、三菱地所）、および大企業の新規事業創出支援や大企業とスタートアップ、産・官・学・街との連携で事業創出を目指すオープンイノベーションプラットフォーム Tokyo Marunouchi Innovation Platform（以下、TMIP）は、株式会社 point0（以下、point0）、パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社（以下、PAS）、パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社（以下、EW）と連携し、移動設置可能なマルチパーパス空間「WELL Cabin OFFMO（オフモ）」を活用したサービス実証実験を、2026年2月24日より大手町仲通りにて開始します。

なお、本実証は「[まちまるごと実証実験 by TMIP](#)」の取り組みの一つです。



近年、働き方の多様化やウェルビーイングへの関心の高まりを背景に、オフィスビル内にとどまらない新たな就業環境やリフレッシュ空間の在り方が求められています。一方で、都心部の屋外空間や歩行者空間においては、遊休スペースの活用方法や持続的な運営モデルの確立が課題となっています。

2024年より、三菱地所とPASとEWは移動設置可能な空間を活用し、オフィスビル内にとどまらず都市空間全体を活用したウェルビーイングな働き方の実現を目的とした実証を段階的に実施してきました。過年度の実証においては、空間コンセプトや設置形態、利用シーンの検討を行い、実際の利用者の反応や課題を踏まえながら、空間および体験内容の検討・改良を進めてきました。結果として、2025年2月に実施したアンケートでは短時間でもリフレッシュするスペースとして98%の就業者が「勤務先の近くにあったら利用したい」と評価しています。

本実証では、移動設置可能なマルチパーパス空間「WELL Cabin OFFMO（オフモ）」を大手町仲通り期間限定で設置し3つの異なるサービスを提供することで、利用動向やオペレーション、価格受容性などを多角的に把握し、都市空間における新たなサービスの可能性を検証します。

また、本成果を踏まえ、今後は利用データや利用者の反応をもとに、サービス内容や運営方法の最適化を図りながら、他エリアでの展開や常設化の可能性についても検討していきます。

■実証実験の概要

名称：移動設置可能な空間を活用したサービス実証

実証期間：2026年2月24日（火）～3月27日（金）

実施時間：9:00～18:00（※土日祝除く）

実施場所：大手町フィナンシャルシティ 仲通り

検証内容：① 有償サービスとしての利用動向・価格受容性の検証

② 実運用を想定したオペレーション検証

③ 都市空間における展開可能性の検討

金額：15分250円～（一部サービスは15分500円～）

実施主体：株式会社 point0、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(PAS)、パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 (EW)、三菱地所株式会社、Tokyo Marunouchi Innovation Platform (TMIP)

■各社の役割

point0	顧客基盤を活用したマーケティング支援及び予約プラットフォームの提供・社債運営
PAS EW	移動設置可能なマルチパーパス空間「WELL Cabin OFFMO（オフモ）」の制作及び提供 車載内のソリューションの提供
三菱地所	施設管理運営を通じた実証支援、空間活用に関する知見の提供、実証の告知・情報発信および広報活動支援
TMIP	実証の告知・情報発信および広報活動、展開可能性に関する検証支援

（参考）各社の概要と取り組み

【三菱地所株式会社】

三菱地所は1937年設立の総合不動産会社です。「まちづくりを通じた社会への貢献」を基本使命に掲げており、東京・丸の内にて代表されるオフィスや商業施設の開発・賃貸・運営管理をはじめ、住宅の開発・分譲、更には設計監理や不動産仲介、海外事業、エリアマネジメントなど多岐にわたる事業を展開。多様な人・企業が集い、交流することを通じて進化していくまちを目指し、丸の内エリアの「オープンイノベーションフィールド」化を進めており、先端技術・テクノロジーのまちづくりへの実装の一環として本取り組みを行っています。

<https://www.mec.co.jp/>

【株式会社 point0】

「働く」を再定義する協創／共創のためのコンソーシアム

point0は、「働く空間の価値」を創出するオープンイノベーションの加速化を目的に2019年2月に誕生しました。「未来のオフィス空間」を実現していくためのコワーキングスペースであり、実証実験の空間として「point0 marunouchi」を運営しています。2026年2月現在、プロジェクトに参画する企業・教育機関は20（※）にのぼり、協創／共創の輪が広がっています。また、理想的なソロワーク環境を整備した「point0 satellite」も運営しています。

・ point0 marunouchi：<https://www.point0.work/>

・ point0 satellite：<https://www.point0.co.jp/satellite/>

※参画企業：ダイキン工業（株）、（株）オカムラ、パナソニック（株）、TOA（株）、アサヒビール（株）、（株）丹青社、DAIKEN（株）、YKKAP（株）、鹿島建設（株）、東京海上日動火災保険（株）、野村不動産ホールディングス（株）、セイコーエプソン（株）、ソニーネットワークコミュニケーションズ（株）、SCSK（株） 他

【TMIP (Tokyo Marunouchi Innovation Platform)】

TMIP は、一般社団法人 TMIP が運営する組織で、丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）のイノベーションエコシステム形成に向けて、大企業とスタートアップ、産・官・学・街との連携で事業創出を目指すオープンイノベーションプラットフォームです。会員、パートナーを含めると 350 団体を超える組織になります。

<https://www.tmip.jp/ja/>

<まちまるごと実証実験 by TMIP とは>

TMIP コーディネートのもと、丸の内エリアが有するアセットを活用し、複数企業の共創による実証実験によって共創プロジェクトを加速させる取り組みです。

<https://www.tmip.jp/ja/report/12089>

<丸の内“まちまるごとワークプレイス”構想>

丸の内エリアの特性の一つは、135年以上にわたるまちづくりを通じてお客様や様々なステークホルダーと共に築き上げてきた「利便性と集積」です。その特性を踏まえ、テナント企業が自社オフィスだけでは実現できないことや、個社単独の取り組みでは実現しにくいことを「まちまるごと」でサポート、エリア全体がプラットフォームとして機能することで、働き方の質や効率を高めます。



以上

<本実証に関する問い合わせ先>

一般社団法人 TMIP TMIP 事務局 広報担当 E-mail : info@tmip.jp